

## 第 1 ・ 2 学年 複式国語科学習指導案

日 時 平成 1 6 年 9 月 2 9 日 ( 水 ) 5 校時  
 場 所 浮島小学校 1 ・ 2 年教室  
 児 童 1 年 男 1 名 女 1 名 計 2 名  
           2 年 男 0 名 女 2 名 計 2 名  
 指導者 藤原 文

### 1 単元名

1 年 くらべて よもう じどう車くらべ	2 年 六 だいじなところに気をつけて読もう サンゴの海の生きものたち
-------------------------	--

### 2 単元について

第 1 学年及び第 2 学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書をしようとする態度を育てる」である。

<p>本単元「じどう車くらべ」は、児童にとって身近な自動車を題材として取り上げ、それぞれの自動車がどのような「しごと」をしており、そのためにどのような「つくり」になっているかを説明している文である。1 学年のこの時期に、興味を喚起するような題材を取り上げることで、主体的な理解や表現活動を促す教材構成となっており、児童が楽しみながら説明文の読み方を体得し、確かな言語能力を身につけるのに適した教材であると考えられる。</p> <p>1 年生の児童は、入学して初めて学習した説明文「だれだか わかるかな」の中で、説明されている事柄を写真や文と対応させながら正確に読み取れることを学んできた。また、この学習を通して「問いの文」に対する「答えの文」を読み取ることや「主語－述語」の関係を把握する力をつけてきた。また、一単位時間の中に視写・音読を繰り返し入れたことで、語句に着目して書いたり読んだりすることも意識するようになってきている。</p> <p>本単元では更に、挿絵を参考にして、自分の経験と結びつけながら言葉をイメージ化させ、「しごと」と「つくり」の関係を読み深めさせていきたい。また、視写や音読を通して、「～あります。」「～います。」という常体の文末表現や「そのために～」という理由を表す言葉に着目させ、子ども自身が活用できるようにさせたい。最終的には、児童の興味・関心を生かしつつ、読書活動に結びつけ、調べたり表現したりする活動へも発展させていきたいと考える。</p>	<p>本単元「サンゴの海の生きものたち」は、日常覗くことのない海の中の様子を、海中の生き物同士の関わり合いを通して説明している文である。話題提示文・一つ目の例・二つ目の例・結論と、2 年生にも理解しやすい構成になっており、「大事なところに気をつけて」読み取らせる学習に適した教材であるといえる。更に、児童にとって未知の世界である海中の生き物に興味や関心を持たせることで、その後の読書活動にもつなげていける教材であると考えられる。</p> <p>2 年生の児童は、一学期に説明文「たんぼぼの ちえ」で、時間的な順序に気をつけて読むことを学習してきた。同時に理由の説明を考えることで、内容の大体を読み取ることも学習してきた。これらのことを踏まえ、本教材では、生き物の違いに応じた共生の方法を順序立てて説明した文を読み取らせていく。視写・音読を繰り返し行うことで、児童は、内容を読み取ること自信を持ってきている。また、語句に着目する読み取りの方法も体得してきている。</p> <p>本単元では更に、話題提示文に対する説明の文をしっかりとらえさせ、筆者の説く結論まで思いを至らせていきたい。指導にあたっては、海の生き物への興味・関心を喚起させ、本教材を言葉に着目させながら読み取らせていきたい。更に、共生し合って生きていく両者の関わり合いについて理解させたい。最終的には、興味を持った海中の生き物を調べる学習を通して、読書活動の幅を広げさせていきたいと考える。</p>
---	--

本 時            本 時

3 単元の指導計画と評価規準

くらべて よもう <b>じどう車くらべ</b>	光村図書 1年上 P 84 ~ 89 領域 読むこと6 書くこと2 授業時数 8時間
----------------------------	--

3 単元の指導計画と評価規準

六 だいじなところに気をつけて読もう <b>サンゴの海の生きものたち</b> もとかわ たつお	光村図書 2年上 P 74 ~ 81 領域 読むこと6 書くこと5 授業時数 11時間
---	---

4 本時の指導

指導上の留意点 評価		学習活動	過程	過程	学習活動	指導上の留意点 評価
(1) 目標 クレーン車のしごととつくりの関連性について叙述に即しながら具体的に読み取ることができる。 (2) 展開					(1) 目標 ホンソメワケベラと大きな魚の共生について叙述に即しながら詳しく読み取ることができる。 (2) 展開	
・2年生に指示を出し終わるまでは、音読をして待つ。		1 学習の課題を確かめる。 クレーン車のしごととつくりについてしらべよう。	う か べ る 5分	う か べ る 5分	1 学習の課題を確かめる。 ホンソメワケベラと大きな魚たちとのかかわり合いを調べよう。	・本時学習範囲を確認させる。 ・一人学びの手順について確認する。
・視写して詳しく読み取らせる。 ① クレーン車のしごとについて書かれた文を読み取ることができたか。(発表・ノート)		2 しごとの文を詳しく読み取る。 (1) クレーン車のしごとについて書かれた文を見つける。 (2) 文や挿絵からクレーン車のしごとについて詳しく読み取る。	き づ く 7分	き づ く 3分	2 ホンソメワケベラと大きな魚たちとのかかわり合いについて読み取る。 (1) 学習範囲を音読する。 (2) ホンソメワケベラと大きな魚たちとのかかわり合いについて文を整理しながら考える。	・ を音読させる。 ・一人学びをさせる。 ・ホンソメワケベラのはたらしきとそのわけをワークシートにまとめさせる。
・クレーン車のつくりについては二文あることに気付かせ、内容をとらえさせる。 ・クレーン車のつくりについて、そのしごとと関連付けさせながら読み取らせる。 ① クレーン車のつくりについて、そのしごとと関連付けさせながら読み取ることができたか。 (発表・ノート)		3 つくりの文を詳しく読み取る。 (1) クレーン車のつくりについて書かれた文を見つける。 (2) クレーン車のつくりについて詳しく読み取る。	し ら べ る 12分 8分	し ら べ る 12分	(3) 一人学びしたことを発表し、学び合う。 3 ホンソメワケベラと大きな魚たちとのかかわり合いについて書かれている文を語句に着目しながら読み取る。	① ホンソメワケベラのはたらしきとそのわけをワークシートにまとめることができたか。(ワークシート) ・自分でまとめたものを発表しあい、意見の交流をさせる。 ② 自分の意見を尊重しつつ、相手の意見のいいところも取り入れることができたか。(ワークシート・青ペン) ・文末表現や接続詞にも着目させる。
・本時習った事柄を生かして、自分の言葉をまとめさせる。 ・一人学びをさせる。 ① クレーン車のしごととつくりについて自分の言葉でまとめることができたか。 (ワークシート)		4 本時の学習のまとめをする。 (1) クレーン車のしごととつくりについて自分の言葉でまとめる。	ま と め る 25分	ま と め る 10分	4 本時の学習のまとめをする。 (1) まとめから分かったことを書く。 (2) 発表する。 5 次時の学習内容を確認める。	② ホンソメワケベラと大きな魚たちとのかかわり合いについて書かれている文を詳しく読み取ることができたか。(発表) ・まとめから分かったことを書かせる。 ・次時は、本時読み取った事柄をまとめ、文にすることを伝える。
・次時は、はしご車についての説明文を自分で作することを伝える。		5 次時の学習活動を確かめる。				